地域づくり研修交流会 in 片品

平成22年10月1日（金）～2日（土）

平成22年10月1日(金)から2日(土)にわたり、「平成 22 年度地域づくり研修交流会 in 片品」として、片品地域のまちづくりを見聞してきました。

1日は、武尊牧場周辺の湧水地の見学から始まり、道の駅・片品「花咲の湯」で行われた群馬のまちづくり講演会では、「群馬 DC に向けた利根沼田地域の取り組み」として、利根沼田行政事務所長の温井眞一さんにご講演いただました。群馬県のデスティネーションキャンペーンという機会を地域としてどうとらえて活用していくかをお話いただき、地元の努力の重要性を再認識できました。

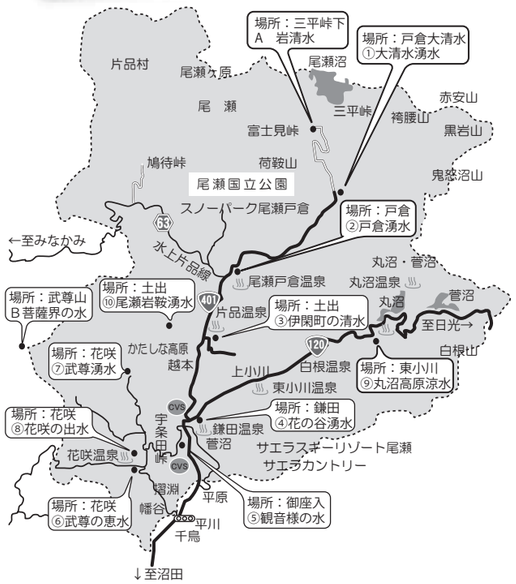
また、片品地域の事例発表として、尾瀬高校自然環境科の地域活性化プロジェクト「地域探検」を3年の梅澤 明野花さんに、尾瀬三ヶ峰高原の会の星野 学さんに「三ヶ峰の夢」として、写真を見ながらの事例発表、花咲アルプホルンクラブの星野 錦作さんにはアルプホルンをお持ちいただき、ホルンの体験をさせていただきました。禹王の碑顕彰会の宮田 勝さんには「中国最古の皇帝『禹王』の碑」に関わるお話を、エンジョイネットワーク片品の皆さんには、「活動一歩前へ」として、日頃の活動やこれからの夢をお話しいただきました。「持続可能な生活」「村の良さを知らせる、伝える。」「自分の故郷を語りたい。」「ひとりひとりが主人公」等々、5団体に共通する大事なキーワードが出され、予定時間を大幅に越える程、会場からの熱心な質疑応答もあり、充実した事例発表となりました。

宿泊先へ移動して行われた懇親会や夜なべ談義では、普段顔を合わせることのない地域活動を行っている方々が、地域を熱く語れば語るほど議論が尽きることはなく、深夜までそれぞれに交歓できました。

翌日2日は、地元片品の越本二十一世紀委員会の林 欣一さんの農園にあるカボチャ畑やアジサイ畑を見学させていただき、その後、尾瀬高校を訪問、今井 元海君、永井 里枝さんに大学さながらの設備や、壁や机をなくした開放的な校舎内を案内していただきました。松井 孝夫先生には、実社会で通用する力を身につけた人間育成を目指し、実践している尾瀬高校の先進的な取り組みを説明していただきました。全国的にも誇れる学校が群馬県にあることに、大変な喜びと実りある訪問となりました。

片品の方々には、大変お世話になりありがとうございました。

「尾瀬の郷片品湧水群」



片品地域はもう雪景色かもしれません、春になって雪解けの湧水を味わいに、今回の地域づくり研修交流会に参加できなかった方も、足を運んでみてはいかがでしょうか。 【事務局】

きっかけとしてのDC

利根沼田行政事務所長
温井　眞一さん

◆政府の観光への取組み

平成3年、小泉内閣の時に外国人観光客誘致策として「ビジット・ジャパン・キンペーン」が始まりました。フランス等では自国人口を超える外国人観光客が訪問していますが、日本を訪問する外国人観光客はまだまだ不十分で外需をのばす必要があるとの理由です。平成 18 年 12 月に「観光立国基本推進法」が制定され、平成 19 年6月には「観光立国推進基本計画」が閣議決定されました。民主党政権となり平成21年12月に閣議決定された「新成長戦略」で「観光」は国が成長する6つの柱の一つに位置付けられています。

◆群馬 DC とは

「DC」とは、JR グループ旅客6社と自治体、観光事業者等が協働で実施する大型観光キャンペーンのことで、デスティネーション =Destination（目的地・行き先）とキャンペーン =Campaign（宣伝戦略）の合成語で、「DC」と略されます。今年度の DC は4月奈良県、10月長野県、1月京都で、来年度は4月青森県、7月群馬県、10月南九州、1月京都と続きます。群馬 DC は、今回で4回目となり「心にググっとぐんま　わくわく体験新発見」をテーマとして、「群馬県のイメージアップ」と「観光による地域活性化」を目的に平成 23 年7月1日～9月 30 日の間開催されます。従来は中央の旅行会社で企画する「発地型」でしたが、近年は地域で様々な体験を企画する「着地型」に特徴があります。

平成 21 年6月に知事を会長とする「ググっとぐんま観光宣伝推進協議会」が設立され、平成 22 年8月に 84 の団体で構成する「同協議会利根沼田地域部会」が設立されました。

平成 21 年度は、利根沼田県民局では市町村や観光協会等と協力し、新たな観点で観光素材を洗出しそれを磨き上げ如何にＤＣに活かしていけるかという準備作業をして参りました。

平成 22 年度は7月～9月のプレ DC に備え、「おもてなし講座」の開催や、「利根川上流高原の旅」などを実施しました。また9月8日の「全国宣伝販売促進会議」に向け、地域の魅力ある素材や展示方法の検討、9月9日、10 日のエクスカーション※に向け地域の魅力あるコース選定の検討を行いました。エクスカーションは6コースで 164 人の参加がありましたが、当地域には 20 名の方々に参加を頂きました。畑でのレタス摘り、星の鑑賞会、温泉、早朝の谷川岳一ノ倉沢トレッキング、土合駅のモグラ駅体験などが人気でした。

管内市町村と協力し9月 28 日から 30 日まで、名古屋で利根沼田の観光宣伝を実施しました。チラシ配り、抽選会、写真展（1週間）等です。当地区のエクスカーションに参加したエージェントを中心に訪問し、自然や温泉、アウトドア等地域の魅力をＰＲしました。

◆DC とは何をするのか

地元（県や市町村）の役割としては、観光客の受け入れ体制の整備が重要です。体験メニューの掘り起こしやガイドの方々の説明、適切な体験誘導、おもてなしの心等がポイントです。バスやタクシー等二次交通の工夫や分り易い案内板の整備等も必要だと思います。

JR は来年全国各駅に群馬ＤＣのポスターを掲示し本県の観光ＰＲに協力してくれます。旅行会社は、群馬県を対象にした旅行商品を掘り起こし企画販売します。したがって群馬を目的地とした旅行商品が増えていくことになると思います。

◆利根沼田県民局の取組み

利根沼田行政事務所は、平成 21 年8月に発足した「ググっと群馬観光宣伝推進協議会利根沼田地域部会」と連携を図り様々な取組みを行ってきました。「おもてなし講座、ツイッターを活用した観光ＰＲの講演会」の開催や、「利根川上流高

※エクスカーション (体験型研修見学会)